

ふくしの宅配便

～この広報紙は赤い羽根共同募金の配分を受けています～



伯耆町社協では、住民の皆さまや関係機関等と協力しながら、地域の見守りなどを通じて福祉課題の解決・改善・早期発見を図るために福祉委員の設置をお願いしています。活動内容には『ふれあいサロン』の開催があり、集落での居場所づくり、閉じこもり予防や孤立防止などを目的に、公民館でのレクリエーションや茶話会など、依頼があれば、希望に沿った内容をご用意し、職員が出向きます。

必ず、笑顔になっていただけると幸いですので、是非、ご検討下さい。

地域でのサロン活動	1
R6事業報告、決算	2～4
理事、評議員紹介	5
こどもパル、実りの会	6
デイサービス、ボランティアセンター	7
寄付者御芳名、ふくしの集い	8

■本所 伯耆町大殿1010 (岸本保健福祉センター内) TEL 0859-68-4635 FAX0859-68-4634
 [生活困窮者自立支援事業専用ダイヤル] TEL 0859-21-0608
 [フィットネス&スタジオ パル] 直通 TEL 0859-68-4811
 小規模保育所こどもパル 伯耆町大殿1081-7 TEL/FAX 0859-39-8211

■岸本支所・通所介護事業所・居宅介護支援事業所
 伯耆町大殿1030-1(岸本老人福祉センター内) TEL 0859-68-3781 FAX 0859-68-4588
 [通所介護事業所] 直通TEL 0859-68-3706 [居宅介護支援事業所] 直通TEL 0859-68-5200

■溝口支所・通所介護事業所・訪問介護事業所
 伯耆町溝口281-2 (溝口福祉センター内) TEL 0859-63-0666 FAX 0859-63-0660

■みぞくちテラス
 伯耆町溝口647 (役場分庁舎4・5階) TEL 0859-62-7110



生活相談はこちらへ

令和6年度 伯耆町社会福祉協議会 事業報告

令和6年度の事業について決算を行い、実績をまとめましたのでその概要を報告します。本年度は、新型コロナウイルス感染症がほぼ収束し、年度当初から計画どおり事業を実施することができました。実施しました事業について、概要と成果及び課題を参加数などとともに記載してまいります。

最初に、各集落にご協力いただいています、当会の会費、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金と寄付金の状況です。

社会情勢に影響を受けて、微減となりましたが地域福祉事業を実施していく上で貴重な財源となっています。皆さまの温かいご支援に感謝申し上げます。

社協会員、会費

項目	会員数(件)	会費額
一般	2,319	2,319,000円
特別	30	260,000円
賛助	5	18,000円
合計		2,597,000円

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金

項目	戸別募金額	その他募金	合計
共同募金	1,369,606円	315,273円	1,684,879円
歳末たすけあい	495,670円	63,678円	559,348円
合計	1,865,276円	378,951円	2,244,227円
その他は、法人、街頭、職域、イベント、学校募金など			

寄付金

香典返し	見舞返し	一般寄付	合計
76件	0件	6件	82件
1,640,000円	0円	172,019円	1,812,019円



1. 地域福祉事業

「住み慣れた地域で、支え合い安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を掲げて、支え合い・見守り体制づくりを進めてきました。事業の実施にあたりましては、ボランティアの方、地域の方に協力をいただきました。

○愛の輪運動事業

各集落に福祉委員を設置していただいています。地区の高齢化により高齢者のみの世帯や高齢者独居の世帯が増加していく中で、とじこもりや、今後ますます福祉委員の必要性は高まっていくものと考えています。未設置の集落への働きかけが課題となっています。

- 福祉委員設置：84名
- 愛の輪運動推進会議・福祉委員研修会開催
6会場 79人
- サロン事業：45集落 延べ2,046人

○日常生活用具貸与事業

独居世帯の方を対象に実施していましたが、緊急通報電話機の貸し出しは、令和6年度をもって事業を終了しました。

- 緊急通報電話機 17件
- 車いす貸し出し 45件

○ボランティア推進事業

充実した福祉活動は、ボランティアの協力なしでは実現しません。引き続き、ボランティアの充実を目指して、研修会などを開催していきます。

- ふくしの集い：10月6日(日) 鬼の館100名
- 手話教室：19回 110人

○ボランティア推進事業(ボランティアセンター)

- はつらつ教室スタッフボランティア：180回
延べ285人
- ゆるっとボランティア：35回 延べ70人
- ボランティア研修会：1回 14名
- 広報紙の発行 1回

○福祉教育推進事業

教育委員会と協力して事業を実施しています。「ゆめねっと」による事業参加者もあり、また、本年度は、学校活動の中で福祉活動について学んでいただきました。

- 夏休みふくしボランティア体験交流事業：
9講座 延べ170人
- 歳末おせち配布事業など：中学生16名

○さわやか福祉事業

この事業は、一人一人の生活に寄り添った事業を行っています。配食サービスでは、単にお弁当を配達するだけでなく、声掛けを行いながら生活状況の変化がないか確認をしています。調理と配達を延べ1,392人のボランティアに参加いただいで実施しています。サービスの継続には、新規のボランティアの拡大が必要となってきています。

- 福祉地域座談会：16集落 参加者162人
- 配食サービス(岸本)：1,551食
平均利用者数17.0人/日
- 配食サービス(溝口)：1,719食
平均利用者数18.9人/日
- 実りの会：6回 延べ134人
(独居高齢者を対象に、町内外への研修)
- 緊急時連絡カード：総発行枚数 708枚
新規発行 19枚
- 友愛訪問：136名
(社協で把握している独居高齢者宅を訪問する。)
- 読み書きサポート：支援回数4回
(高齢者等の読み書きを定期的にサポート)
- 困窮時食料支援事業：支援4件
- 災害時における支え愛 地域づくり推進事業：
支え愛マップ作成 大倉集落

2. 介護サービス事業

介護が必要な方が、地域で自立した安定的な生活が送れるように支援することが目的である、介護保険に係るサービスを提供しました。

事業名	所在地等	利用人員	延利用者数/年	備考
居宅介護支援事業	岸本支所	143人/月	1,710人	訪問調査：39件/年
通所介護事業(岸本)	岸本支所	27人/日	8,333人	
通所介護事業(溝口)	溝口支所	18人/日	5,562人	
訪問介護事業	溝口支所	519人/月	6,222人	移送サービス関係：521人/年



3. 障害者サービス事業

障がいがあっても、安心して地域で生活を送ることが出来るよう、障害者自立支援法のもとサービスを提供しました。

事業名	所在地等	年間利用者数	
デイサービス事業	生活介護	岸本支所	461人
		溝口支所	319人
	日中一時支援	岸本支所	57人
		溝口支所	50人
居宅介護事業	溝口支所	1,740人	



4. 受託事業

町からの委託を受けて行っている事業です。

○認知症予防教室(とっとり方式 はつらつ教室)

- ・5教室開催し、延べ1,214人の参加者がありました。

○福祉サービス利用援助事業

生活に課題のある方(金銭管理、生活相談など)への支援に関わる事業についてです。ここ数年で利用者、支援回数とも大きく増えてきています。

- ・利用者：14人(R2 2人)
- ・支援回数：289回(R2：22回)

○生活困窮者自立支援事業

この事業は、「生活保護は受給していないが、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのあるかた」を対象に、相談を受け止め、安定した生活に向けて様々な面で支援するものです。現在の状況として、益々この事業へ対応が増えていくと感じています。

- ・支援実績：延べ284件
- ・相談者：23人

5. 健康増進事業

「フィットネス&スタジオ パル」(岸本健康増進事業)は、コロナ感染症の収束とともに会員数が持ち直してきました。会員数の推移は、年度始め4月に395名でしたが、年度末には412名となり、年平均会員数403名/月となり、目標370名/月に対し達成率109%となりました。

みぞくちテラソもスタジオパル同様に4月に120名、年度末には134名となり、平均会員数は127名/月で約19%の大きな伸びを見ました。また、テラソ会員の年齢層は、60才以上の割合が78%にも及んでおり、新たにメニューとして加えたeスポーツとともに、まさに高齢者の身体と認知機能の観点で介護予防に寄与していると評価をしています。

令和7年3月現在

事業名	会員在籍数		
	フィットネス	ダンス	キッズ
フィットネス&スタジオ パル	412人	9人	11人
みぞくちテラソ	テラソ	114人	134人
	ワーキング	20人	

○eスポーツ：延べ39人 ○カラオケルーム：延べ418人



6. 小規模保育事業

町からの受託事業として、0歳から2歳児の保育を行っています。職員全員が保護者と連携しながら子どもの最善の利益を念頭において健全な保育ができたと考えています。

○こどもパル：入所児 14人(通年)



令和6年度伯耆町社会福祉協議会決算報告

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

資金収支決算内訳

（単位:円）

収入内訳	決算額	支出内訳	決算額
会費収入	2,597,000	法人運営事業	3,754,433
寄附金収入	1,921,699	事務局運営事業	57,164,707
経常経費補助金収入	69,650,822	岸本老人福祉センター運営事業	1,444,977
受託金収入	58,124,800	たすけあい寄附金事業	122,318
貸付事業収入	49,500	愛の輪運動事業	999,552
事業収入（利用料）	37,970,190	日常生活用品貸与事業	28,710
介護保険事業収入	171,873,935	ボランティア推進事業	737,508
障害福祉サービス等事業収入	13,636,090	さわやか福祉事業	3,014,228
受取利息配当金収入	53,998	社会福祉資金貸付事業	100,000
その他の収入	1,417,572	葬儀用祭壇貸出事業	21,310
施設整備等補助金収入	0	生活福祉資金貸付事業	203,487
前期末支払資金残高	132,133,256	福祉サービス利用援助事業	1,537,651
		自立相談支援事業	7,270,070
		共同募金配分金事業	1,223,924
		高齢者ワキガコミュニティー事業	2,491,656
		町受託事業	14,236,498
		介護保険事業	164,125,492
		障害福祉サービス事業	12,485,757
		小規模保育事業	34,161,336
		健康増進事業	37,665,035
		当期末支払資金残高	146,640,213
計	489,428,862	計	489,428,862

令和6年度の収支状況ですが、前期末支払資金残高に比べて当期末支払資金残高を約1,450万円増とすることができました。各事業とも経費の縮減はもちろんですが、効率的な運用に努めた成果であると評価しています。

令和6年度 貸借対照表（令和7年3月31日）

（単位:円）

借方				貸方			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
1. 流動資産	168,812,511	155,937,505	12,875,006	1. 流動負債	32,677,331	33,574,166	△ 896,835
2. 固定資産	256,211,182	264,494,183	△ 8,283,001	2. 固定負債	9,429,495	9,911,895	△ 482,400
基本財産	186,292,574	193,157,001	△ 6,864,427	負債の部合計	42,106,826	43,486,061	△ 1,379,235
その他の固定資産	69,918,608	71,337,182	△ 1,418,574	1. 基本金	2,000,000	2,000,000	0
				2. 国庫補助金等特別積立金	142,672,075	147,316,692	△ 4,644,617
				3. その他の積立金	49,545,496	49,545,496	0
				4. 次期繰越活動収支差額	188,699,296	178,083,439	10,615,857
				純資産の部合計	382,916,867	376,945,627	5,971,240
資産の部合計	425,023,693	420,431,688	4,592,005	負債及び純資産の部合計	425,023,693	420,431,688	4,592,005



会長就任あいさつ

伯耆町社会福祉協議会
会長 谷口 仁志

このたび伯耆町社会福祉協議会会長に就任することとなりました。従前7年間、常務理事兼事務局長として本会の運営に当たってきましたが、会長職ということで、比較にならない責任の重さを感じております。引き続き、「住み慣れた地域で、安心して暮らせる福祉のまち」の実現に向けて邁進していく覚悟でありますので、ご支援ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、昨今の地域社会は、少子高齢化、小家族化の進展の中で一人暮らし高齢世帯の増加などによる課題が顕在化してきており、行政とは一味違う社会福祉協議会が地域の中で果たすべき役割は、今後ますます大きくなっていくのではないかと考えております。

その上で、近年の本会の地域福祉活動の様子をみてみますと、特徴的にみられることの一つに「福祉サービス利用援助事業」の支援回数の劇的な増加があります。このサービスは認知機能の低下した高齢などの方々が地域で安心して生活できるよう日常生活に必要な金銭管理や読み書きのサポートなどをする事業です。以前は家庭内で解決できていたことが小家族化に伴い家族が近くにいないことにより基本的な生活が困難な人の増加が要因であります。今、高齢者の5人に1人が認知症と診断されている中で、今後ますますこの事業は地域福祉の重要なものとなると考えており、行政とも連携しながら対応していく考えです。

また、本会は地域福祉事業の他に介護サービス事業（デイサービス、訪問介護、居宅介護支援）、障がい福祉サービス事業（デイサービス、居宅介護、移動支援、行動援護）、町からの指定管理事業として小規模保育事業（こどもパル）の運営、軽作業による工賃収入を介在させながらの高齢者の居場所づくりのための高齢者ワーキングコミュニティ事業、収益事業として健康増進事業（フィットネスジム）の経営など、多岐にわたる事業を行っている稀有な社会福祉協議会です。これらの事業を有機的に連携させながら、また最近の著しい物価高騰など厳しい社会環境の中にあっても、この町のサービス提供事業者としての責任を自覚し、存続して運営できるよう心して取り組む所存であります。

町民の皆様、行政機関、自治会、民生児童委員などの関係機関とお互いに連携しながら、また本会役職員一丸となって、伯耆町の福祉向上に取り組んでいきたいと考えておりますので重ねてご理解ご協力をお願い申し上げます。

以上、意を尽くしませんが、会長就任挨拶とさせていただきます。

新評議員・役員の紹介

任期満了に伴い、新しい評議員(12名)、理事(8名)、監事(2名)が選任されました。また、理事の互選により会長・副会長・常務理事が決まりました。

●評議員

田中 治伸(大坂) 光木 勝利(谷川) 西村 治(岩立) 米田 述史(大坂)
影山 露子(長山) 金口 幸子(吉長) 入江美佐代(金屋谷) 金田 芳子(焼杉)
清水さとみ(須村) 福井 博美(南部町) 下前 博司(大殿) 住田 浩平(池田)

任期：令和7年6月10日から4年間

●役員

理事 【会長】谷口 仁志(溝口) 【副会長】井上祥一郎(大平原) 大田 秀明(荘)
西尾 章子(福原) 花倉 積(伯耆ニュータウン) 本庄 純一(添谷)
井勝智華子(みどり区) 【常務理事】野坂 博文

監事 勝部 安弘(遠藤) 山本 哲也(二部)

任期：令和7年6月10日から2年間

こどもパル 参加日&親子キッズヨガ

6月6日（金）、この日は参加日であうちの方に各クラスでの普段の生活の様子を見ていただいた後に、ホールで親子キッズヨガを行いました。

ヨガの先生は、フィットネス&スタジオパル・みぞくちテラソなどで教えておられる井田さやかさんです。ホールに敷かれたヨガマットを見て、いつもと違う雰囲気になくわくドキドキの子どもたち！先生の動きのまねをしながら、ねこやライオンなどのポーズに挑戦しました。



猫のポーズ



上手にポーズができました！

実りの会 県立美術館へ出かけました！

6月4日（水）・6日（金）の日程で、3月にオープンしたての鳥取県立美術館へ出かけました。伯耆町ゆかりの作家の作品をじっくりと見られたり、熱心に学芸員にたずねたりするなど楽しみ方はひとそれぞれ！例の3億円の箱は撮影可能だったため、撮った写真を友人へ送ったり、箱と並んで写真を撮ったりされていました。

町研修バスの利用方法が変わり、参加者が多く見込まれる研修については2日に分けて開催するようにしましたが、両日とも岸本・溝口地区関係なくワイワイ、また初参加の方が5名おられ、新たなつながりができた研修になりました。



季節を味わう、ちまきづくり ～岸本デイサービスセンター～

6年ぶりに、ちまきづくりを行いました。今回はボランティアの皆さんに笹の採取からご協力いただき、仕分けや巻く作業では、「昔はこうやって巻いたよ」「こんな巻き方もあるんだね」と会話を楽しみながら、手を動かしていただきました。茹で上がったちまきは笹の香りもよく、ボランティアの皆さんと一緒においしくいただきました。



★ボランティアセンター活動報告★

岸本デイサービスより活動依頼があり、ボランティアの方とちまき作り用の笹を採りに行ってきました！後日、デイサービス利用者の皆さんと一緒に笹を仕分けして、ちまき作りを行い、出来上がったちまきを皆さんと楽しく、おいしくいただきました。

「利用者さんから三味線巻きを教わって楽しかった。」といった声もあり、ボランティアの皆さんも楽しんで活動されました。



地域支援ボランティア養成研修会 参加者募集！

令和7年度の養成研修会は、認知症について学びます。

この研修会は、地域でのボランティア活動を通じて自らの生きがいや健康づくりを図り、いきいきとした暮らしができることを目的に開催をしています。皆さまのご参加をお待ちしています。

※令和7年度より地域支援ボランティア養成研修は2年に1度の開催となります。

- 募集対象** 地域のボランティアに関心のある方(原則、5日間の参加が可能な方)
- 場 所** 農村環境改善センター(伯耆町役場 本庁舎隣)
- 受講料** 無料
- 募集人数** 15名(申込み順)
- 申込・問合せ先** 伯耆町社会福祉協議会ボランティアセンター 電話:68-4635
- 申込締切** 9月16日(火)

	日 時	内 容
1回目	10月1日(水) 13:15~15:40	・運動器の健康～高齢期のフレイル予防について ・介護保険制度について
2回目	10月15日(水) 13:30~15:00	・「みんなで支える認知症」(認知症サポーター養成講座)
3回目	10月27日(月) 13:30~15:00	・「相手とよりよい関係をつくるためのコミュニケーションスキル」
4回目	11月13日(木) 13:30~15:00	・「認知症プログラムについて」
5回目	11月26日(水) 13:30~15:00	・「ボランティア活動の心構え、 伯耆町ボランティアセンターの活動について」

ご寄付ありがとうございました

令和7年5月1日～令和7年6月30日

香典返しとして



伯耆町農業者年金友の会 溝口支部 様	伯耆町農業者年金友の会 岸本支部 様	一般寄付として															
		梶間敏様 (畑池)	森下操様 (坂長)	岡本和子様 (岸本)	吉川憲二様 (畑池)	長島善枝様 (溝口)	河合純樹様 (岸本)	森田由美恵様 (殿内)	影山和司様 (番原)	岡田厚之一様 (溝吉)	田中裕一様 (古市)	高松早苗様 (古市)	岩田利広様 (岸本)	藍田寛子様 (吉長)	金田恵美子様 (吉大)	角川誠樹様 (大寺)	長谷川誠樹様 (大寺)

令和7年度 ふくしの集いを開催します！

9/27 (土)

場所 鬼の館



今年のふくしの集いは、ほんとの「ふくし」ってなんだろう！をテーマに、これからのわがまちの福祉をみんなで考える場として開催します！

内容は、第1部として、全国社会福祉協議会副会長 古都賢一氏（米子市出身）の記念講演の他、第2部では、近年幅広い世代で注目されている「eスポーツ大会」を予定しています！その他にも会場では町内ふくし関連施設や団体の展示・販売などを行う予定としています。

※詳細はあらためてお知らせいたします。

第1部 講演・表彰

講師紹介 全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一 氏

1983年3月東京大学法学部卒業。同年4月厚生省（現厚生労働省）に入省。環境庁（現環境省）、北九州市等での勤務を経て
 1999年7月厚生省社会・援護局施設人材課福祉人材確保対策官2000年8月名古屋大学法学研究科助教授
 2005年より、厚生労働省老健局振興課長、社会・援護局保護課長、年金局総務課長、社会・援護局総務課長、
 大臣官房審議官（賃金、社会・援護・人道調査担当）を経て、2015年4月より独立行政法人国立病院機構副理事長。
 2019年3月末、厚生労働省定年退職。2019年6月より現職。



【要職】 日本福祉大学客員教授 兵庫県立大学客員教授 早稲田大学非常勤講師 他

第2部 eスポーツ大会

競技種目：太鼓の達人 ※3人一組のチーム戦を予定しています。



こちらから本会HPを
ご覧いただけます。